

# 問 観光局の今後の運営については

## 答 現状の財政では3年後に存在できない



篠崎久美子議員

業の起業や事業拡大、人材育成をする。

**問** 事業推進において観光局の役割は。

**答** マーケティング、プロモーションを主導、地域受け入れ態勢の整備など。

**問** 観光局は地域版DMO候補人として1年目だが、財政面も含め今後の運営については。

**答** 国内外観光客への積極的な観光事業の推進をしていく。会員は13期では22件加入するも17件が廃業するなど、現状の財政状態では3年後に局は存在し得ない事態。手数料収入などを含め財源を見つける必要がある。村の委託事業以外の事業運営について研究しつつある。

**答** バックカントリースキー国際大会(FWT)の開催、トレイルランニングやマウンテンバイクの環境整備としてコース整備、案内表示、事業者誘致マーケティングなどを実施。総額1億3500万円、うち国の交付金5000万円、FWT事務局の負担金5000万円、残りは一般財源。観光の通年平準化で収入と雇用の安定を期待、併せて関連産

業の起業や事業拡大、人材育成をする。

## 問 予定する教育振興基本計画の状況は

**答** 村教育大綱の見直しも含め方針を策定

**問** 「信州型コミュニティスクールなど」

**答** 両小学校での信州型コミュニティスクール導入への予定、期待される効果は。

**問** 5月下旬に学校運営協議会を発足、ボランティアを募集し支援をお願いしていく。学校と地域が繋がることで地域全体の活性化の一端も担う効果が望める。

**答** 学校支援ボランティアの役割は。小学校では学習支援、キャリア教育支援、施設環境に

関する支援、児童の安全確保の支援、行事支援が望まれている。

北小に設置された通級指導教室の内容効果は。

**問** LD<sup>注1</sup>やADHD<sup>注2</sup>等の児童を対象、白馬、小谷エリアが範囲。障害による学習上や生活上の困難の改善、克服を目的に指導する。個別ニーズに応じたきめ細かい指導ができ、教職員の知識や支援力向上も期待できる。

**答** 外来植物の駆除については6月中に関係者と駆除体制を検討

## 問 外来植物の駆除については

**答** 6月中に関係者と駆除体制を検討

【外来植物の状況と対策】

**問** 外来植物の状況と駆除対策は。

**答** セイタカアワダチソウは有志団体による駆除が平成12年ごろから続き、目立たなくなっている。観光地として景観形成上も重要な問題があり、6月中に関係者の打ち合わせ会議を行い検討する。

**問** 山岳地帯の状況は。住民への啓発は。

**答** 八方自然研究路ではマツト使用で種の侵入を防いでいることなどもあり、固有の高山植物を駆逐する状況は見受けられない。今後多くの方に駆除活動に参加してもらうよう努めたい。

\*注1 LDとは学習障害、注2 ADHDとは注意欠陥多動性障害の略



特定外来生物に指定されているオオキンケイギク。村内でも急速に繁殖が広がっている